

## この4年間の芦屋市議会とは？

芦屋市議会には日本共産党の3議席が必要です！



### TOPIC.1

## JR芦屋駅 南地区 再開発事業

市長が代わった今期の議会では、自民・公明など12名の議員(※1)が事業に反対。市が事業案を見直し、事業費を35億円縮減したにも関わらず反対の姿勢をとり続けました。その後、反対議員からは代替案の深い議論もなされませんでした。2022年3月に市の計画に変更がないにもかかわらず、突然一部の反対議員(※2)が予算案に賛成しました。結果的に、再開発事業は約2年間遅れ、時間と人件費を浪費し、地権者や市民を待たせる結果となりました。

※1 自民党、公明党、中島、青山、大塚(2022年5月に辞職)、寺前議員が反対(敬称略)  
※2 中島、青山議員を除く反対議員

### 私たち日本共産党は

#### 目的

「歩車分離」によって、みなさんに安全な駅前(交通結節点)を提供する

#### 手法

土地を提供する地権者の皆さんが、長い時間話し合っただけで選んだ事業手法を尊重する

#### 予算

ペDESTリアンデッキの縮小など、市の事業費縮減の案を一定評価する

という考えで賛成してきました。これからも「まちづくり」に全力で向き合っていきます。

### TOPIC.2

## 芦屋保健所の統廃合問題

コロナ禍で市民が不安を感じている中、芦屋保健所(公光町)を宝塚の保健所と統廃合するという問題が浮き彫りになりました。市民団体が芦屋保健所存続を求める署名活動をスタートさせ、約4000筆を県知事に届け、市議会へも存続を求める請願を提出しました。日本共産党は請願の紹介議員となり、また、市議会でも県議会でもこの問題を取り上げ続けました。現在計画は一旦「凍結」されましたが「撤回」を求め引き続き力を尽くします！



# 芦屋市政に 全力！

どんなときも現場を見て、当事者の声を聴くことを大切にしてきました。芦屋のまちづくりをさらに、前へ。これからも川島あゆみは挑戦します。

日本共産党 芦屋市議会議員

かわしま

# 川島 あゆみ



TEL / 070(5037)9134 E-mail / kawashima.ayumi.san.1453@gmail.com

AYUMI KAWASHIMA news

### Profile

●1984年生まれ(38歳)石川県出身 ●三重大学大学院修了(工学修士) ●芦屋市役所で建築技術職として勤務 ●兵庫県・宝塚土木事務所に出向 ●2019年より芦屋市議会議員 ●建設公営企業常任委員長(2022年度) ●家族:夫、息子 ●趣味:一人旅

### 芦屋民報

2023年4月号 発行:日本共産党西宮・芦屋地区委員会  
西宮市津門住江町5-11 TEL:0798-23-2281  
日本共産党西宮・芦屋地区委員会の見解を紹介します。

# 芦屋市を もっと 暮らしやすいまちにする！



～私たちが全力で頑張ります～

## 子育て支援に全力で

### ● 子ども医療費の無償化をさらに

現在、中学卒業まで無料の子ども医療費を、高校卒業まで無償化を求め、市当局からも前向きな答弁を引き出しています。また、所得制限の緩和、撤廃を求めて頑張ります。

- 学校給食を無償に
- 保育料の負担軽減を
- 公立幼稚園での3年保育をさらに拡大
- 芦屋市独自の大学奨学金復活



教職員の働き方の改善も  
急務！

## 高齢になっても暮らしやすいまちに

### ● 介護保険の「改悪」に物申す

介護保険制度は「介護は社会で」という理念でスタートしましたが、制度が後退・改悪しています。老後も安心して暮らせるように、保険料の引き下げや、介護従事者の処遇改善・賃金アップを求めます。

- 年金で入れる  
特養ホームの増設を  
兵庫県議会で実績があります！
- 高齢者の補聴器購入費  
助成制度を



## くらし・商売を応援します

### ● 市内の商売を守り地域経済の活性化を

芦屋では1700の中小業者が頑張っています。しかし廃業率は県下1位。地域経済を支える中小業者に追い打ちをかけるインボイス制度は中止し、消費税を5%に減税することを求めるなど、国の政治に対し地方から声をあげます。

- 高すぎる国民健康保険料の  
引き下げを  
同性婚や  
選択的夫婦別姓制度を前へ！
- ジェンダー平等社会の実現を



## 安全安心なまちづくりを前進させます

### ● 災害に強く環境に優しいまちづくりを

南海トラフ大地震、豪雨による河川氾濫など災害対策を求めます。ゼロカーボンシティを表明したまちとしてCO<sub>2</sub>排出を減らし、再生可能エネルギー推進のまちづくりを提案していきます。プラごみの分別も進めます。

- 芦屋保健所の存続を
- 再開発事業には市民が望む  
公益施設(図書館など)を
- コミュニティバスや  
デマンドタクシーの運行



むむむっ！

## 国の政治、おかしくないですか？

いま、政府は防衛費を5年間で43兆円にしようとしています。その後もGDP比2%（※）への拡大を続けると言います。11兆円の防衛費とは、アメリカ、中国に次ぐ世界第3位です。米軍と自衛隊の結びつきが強くなっている今、これはもはや防衛費ではなく「軍事費」ではないかと私たちは考えています。戦争する国づくりには反対です。

すでに2023年度予算では、社会保障費が1500億円削られています。さらなる軍事費拡大が続けば、社会保障や福祉に回す予算

が削られ、増税へと進むのは明らかです。そして、そのあおりを受けるのは地方自治体であり私たちの暮らしです。

また、異次元の金融緩和(=アベノミクス)によってもたらされている円安から、物価高騰が止まりません。軍事費拡大の前に、国民が望むのは消費税減税などの物価高騰対策ではないでしょうか。

反戦平和を掲げて100年、今の政権与党にしっかりモノを言えるのは日本共産党です。国へ出す意見書の採択など、国のおかしな政治は地方議会からも変えることができます。地方議会でも、ぜひ日本共産党を伸ばしてください！

※GDP=国内総生産。現在、防衛費はGDP比1%で年間5兆円超で世界第9位。